

ソールズベリー大学と青森大学との間における了覚書

この了解覚書（以下「覚書」）は、2022年5月1日までに署名され、アメリカ合衆国メリーランド州大学システムの機関であるソールズベリー大学（以下「SU」）と青森大学によって締結され、効力を生じるものとする。

第1条：目的

この覚書は、次の分野における両大学間の協力活動の促進を目的とする。

- 学生の交流
- 教員・研究者の交流
- 学術資料及び刊行物の交換
- 共同セミナー・研修会・シンポジウム・講義の実施
- 共同研究の実施

第2条：共同事業の実施

a. 両大学は予想される協力体系と内容に関しては、この覚書が、一つの共同事業の実施、管理、資金調達の方法を詳述できるものではないことを理解している。

合意した特定の事業ごとに、両大学が協議により個別に補足協定交わすことができる。各補足協定では、以下の共同事業の範囲を説明する。

- ・共同事業における両大学のそれぞれの役割、分担量及び義務
- ・プロジェクトの管理、調整及び実施
- ・共同事業実施の過程で生じた知的財産における両大学の所有権と使用权及びライセンスと特許権
- ・研究結果の処分
- ・守秘義務
- ・出版権及び両大学間で合意されたその他の事項

b. 両大学いずれかの個人が共同事業の提案をすることができるが、両大学の権限を与えられた教職員のみが、補足協定に同意して実行する権限を有するものとする。

- c. 補足協定で別段の合意がない限り、両大学が補足協定に基づき作成または考案された発明、発見、著作権で保護された作品、ソフトウェア、またはその他の知的財産に関し、すべての権利及び所有権について、各大学の教職員によって単独で作成された知的財産の所有権はその当事者が所有するものとし、両大学の教職員が共同で作成した知的財産の利益は、両大学が共同で所有するものとする。
- いずれの大学も、事前の書面による合意なしに、商業目的で共同所有の知的財産を第三者に使用またはライセンス供与することはできないものとする。

第3条：資金

- a. 両大学は、この覚書において、特定の財政的または人的支援を行うこと及び事業のための特定の実験室または研究室を提供することを約束するものではないことに同意する。両大学は、資源の利用可能性に基づき、その規則と方針に従って支援を提供する。
- b. 上記にかかわらず、両大学は、年度計画を支援するための資金およびその他の資源を確保するために適切な努力を払うことに同意する。

第4条 覚書期間の開始と終了

- a. この覚書は締結日から5年間有効であり、いずれかの大学から反対の通知がない限り、同じ期間で自動的に更新されるものとする。
- b. いずれの大学も、少なくとも6か月前に書面で通知することで、いつでも本覚書を終了させることができるが、当該終了を理由とする支払額を取り消すことはできない。また大学間で別段の合意がない限り、期間終了日までに終了する予定のない補足協定は、同協定の条件に従って完了するものとする。

第5条 紛争の解決

本覚書の履行、違反、解釈に起因する相違、対立、紛争により業務が行われた場合、両大学はまず、公正で誠実な通則を適用し、次の手順に従って紛争を解決することに同意するものとする。

- a. 交渉への参加：両大学はまず、第三者の介入なしに、双方が問題または紛争の解決を試みる交渉のプロセスに入ることに同意する。この交渉は、最大30日以内に行わ

れる必要がある。

第6条 総則

- a. 両大学が恒久的な広報手順に同意するまでは、この覚書と特定の事業に関する共同発表を行うことに同意する。
- b. 両大学は、適用される法律に従い、この覚書の管理および人事交流に参加する者の選定を、人種、肌の色、信条、民族、宗教、性別、年齢、婚姻状況、性的指向、性アイデンティティ、性同一性、遺伝的アイデンティティ、出身、政治的所属、身体的または精神的な障害、軍歴、またはその他の階級などにおいて差別をしない。
- c. この覚書のいずれかの条項が支配法の下で無効または執行不能であると判断された場合、その条項の無効性または執行不能性は、この覚書の残りの条項の有効性または執行可能性に影響を与えないものとする。
- d. 両大学は独立した締結者であり、今後もその覚書を維持するものとし、本書のいかなる内容も、両大学間の提携、機関、合併企業、またはチーム契約を作成するものと解釈してはならないものとする。
- e. この覚書は、相手側の書面による事前の同意なしに、全部または一部をいずれかの大学も譲渡することはできないものとする。
- f. 本書に規定のない事項や後発事項については、互いに書面により協議したうえ決定する。
- g. この覚書は2通作成され、各原本は同等に有効であるものとする。

2022年×月×日

ソールズベリー大学

学長



青森大学

学長


